

県民大学校夏期大学（夏季講座） 講師一覧（1回～15回）

昭和49年・第1回 富山会場		
「比較文化論の試み」	山本書店主	山 本 七 平
「動物の社会と人間の社会」	京大大学名誉教授	宮 地 伝三郎
「日本のゆくえ」	朝日新聞論説委員	永 井 道 雄
「郷土をどうする」	日本テレビ放送網社長	小 林 与三次
「現代における人間の生き方」	京大大学名誉教授	山 崎 正 一
「ゆうゆう人生」	評論家	上 坂 冬 子
「労働経済の分野から日本を考える」	全織同盟名誉会長	滝 田 実

昭和50年・第2回 富山会場		
「成熟社会の発見」	評論家	草 柳 大 蔵
「地震・火山と富山県」	京大大学名誉教授	水 上 武
「朝のこころ」	俳人	中 村 汀 女
「歴史ドラマの虚と実」	作家・時代考証家	稲 垣 史 生
「女人正機について－仏教と女性－」	京大大学教授	笠 原 一 男
「日本芸術の特性」	京国国立近代美術館長	河 北 倫 明

昭和50年・第2回 高岡会場		
「大伴家持と万葉」	京都市立芸術大学長	梅 原 猛
「女性の生涯教育」	評論家	樋 口 恵 子
「複雑化する国際環境と日本」	上智大学教授	蠟 山 道 雄
「内外情勢について」	伊藤忠副社長	瀬 島 龍 三
「科学・宗教と人間」	京大大学教授	東 昇
「野球と人生」	読売巨人軍専務	川 上 哲 治

昭和51年・第3回 富山会場		
「よこ糸を必要とする日本」	同志社大学教授	オ-レス・ケ-リ
「地球と人」	日本学士院長	和 達 清 夫
「日本人の自伝」	文芸評論家	佐 伯 彰 一
「人が生きるとは」	作家	大 原 富 枝
「私たちの周囲」	作曲家	團 伊玖磨

昭和51年・第3回 高岡会場		
「世に生きる－原始仏教を顧みて－」	京大大学名誉教授	中 村 元
「地球儀のなかの日本経済」	経済評論家	矢 島 釣 次
「歴史にみる女の愛と生き方」	作家	安 西 篤 子
「交通と鉄道」	国鉄常務理事	石 沢 応 彦
「激動する政局」	NHK解説委員	岡 村 和 夫
「越中の家持」	大阪大学名誉教授	犬 養 孝

昭和52年・第4回 富山会場		
「人間について」	作家	水 上 勉
「日本経済の風土」	法政大学教授	伊 東 光 晴
「私の旅」	日本画家	平 山 郁 夫
「現代女性の生き方」	評論家	俵 萌 子
「人間の未来－生命科学の立場から－」	慶応義塾大学教授	渡 辺 格
「文明のゆくえ」	評論家	森 本 哲 郎
昭和52年・第4回 高岡会場		
「歴史は生きている」	作家	村 上 元 三
「宇宙と人間」	科学評論家	村 野 賢 哉
「私のあゆんだ道」	財大宅文庫理事	大 宅 昌
「邪馬台国の国際背景」	東京大学教授	井 上 光 貞
「日本経済の活力」	経済評論家	坂 本 二 郎
「世界の中の日本人」	大阪大学教授	山 崎 正 和

昭和53年・第5回 富山会場		
「ヨーロッパと日本」	前東京大学総長	林 健太郎
「くらしと法律」	弁護士	鍛 治 千鶴子
「日本語と日本文化」	京都大学教授	多 田 道太郎
「日本列島再開発」	名古屋大学教授	島 津 康 男
「映画を創るということ」	映画監督	山 田 洋 次
「記憶に残る人たち」	作家	吉 村 昭
昭和53年・第5回 高岡会場		
「私の創作ノート」	作家	津 村 節 子
「映像の真実」	映画評論家	荻 昌 弘
「日本の近代化」	上智大学長	ヨゼフ・ピタウ
「自然と人間の共存をめざして」	横浜国立大学教授	宮 脇 昭
「人間はなぜ本を読むのか」	詩人	大 岡 信
「国際化時代の経済とくらし」	経済評論家	大 来 佐武郎

昭和54年・第6回 富山会場		
「日本人の心」	薬師寺管長	高田好胤
「今の若者・昔の若者－歴史に見る女性の今昔－」	小説家	杉本苑子
「アジアの美の巡礼」	洋画家	前田常作
「日本の内と外」	武蔵野音楽大学長	福井直弘
「国際理解について－最近の海外旅行の体験をふまえて－」	京都大学名誉教授	桑原武夫
「惑星探査の近況（夜）隕石の科学（朝）」	国立科学博物館理化学研究部長	村山定男
昭和54年・第6回 高岡会場		
「ジャコメッティと私」	法政大学教授	矢内原伊作
「ことばの獲得」	お茶の水女子大学教授	外山滋比古
「知的野性教育」	評論家	桐島洋子
「ガンにかつために」	国立がんセンター病院長	市川平三郎
「時代の言葉としての“地域主義”」	経済評論家	杉岡碩夫
「孤独と文学」	早稲田大学名誉教授	暉峻康隆

昭和55年・第7回 富山会場		
「話しことばとしての日本語」	演出家	浅利慶太
「人とのふれあい」	作家	藤本義一
「夫と妻のための老年学」	医事評論家	水野肇
「ほんとうに美しいもの」	俳優	村松英子
「新しい美術の見方」	美術評論家	東野芳明
「親鸞と現代（夜）蓮如と現代（朝）」	作家	加藤周一
昭和55年・第7回 高岡会場		
「幕末維新の若者たち」	歴史家	奈良本辰也
「そこにも学べる」	東大寺管長	清水公照
「エネルギー問題について」	京都大学教授	高坂正堯
「漫画の読み方」	漫画家	岡部冬彦
「社会と文化にみる日本の特質」	作家	深田祐介
「詩と小説のちがい」	作家	富岡多恵子

昭和56年・第8回 富山会場		
「生きている地球」	地球物理学者	竹内 均
「禅寺の生活－悟りへの前提となるもの－」	宗教家	盛永 宗興
「スポーツと人生」	NHKアナウンサー	北出 清五郎
「囲碁と人生」	専門棋士	梶原 武雄
「相撲と人生－私の体験から－」	相撲解説者	神風 正一
「実りある人生」	劇作家	田中 澄江
昭和56年・第8回 高岡会場		
「音楽とのまじわり」	作曲家	芥川 也寸志
「スポーツを文化として」	教育評論家	小野 清子
「人生のめぐり逢い」	映画評論家	水野 晴郎
「“学”の勉強と“術”の勉強」	作家	なだ いなだ
「隣国としてのアメリカ」	アメリカ史研究者	猿谷 要
「80年代の国際情勢とわが国の立場」	国際問題研究者	山田 久就

昭和57年・第9回 富山会場		
「日本文化の反省」	学習院大学教授	加藤 秀俊
「伝統と現代」	草月流家元	勅使河原 宏
「能力の育つ条件」	才能教育研究会長	鈴木 鎮一
「演劇空間」	舞台美術家	朝倉 摂
「道一筋」	野球評論家	村山 実
「演劇の可能性－利賀フェスティバルのこと－」	演出家	鈴木 忠志
昭和57年・第9回 高岡会場		
「私の会社経営」	鈴木自動車社長	鈴木 修
「日本文化のみち」	宗教家	平岡 定海
「のらくろと歩んだ50年」	漫画家	田河水泡
「“いろいろの女”を演じながら」	俳優	左 幸子
「国際情勢の見方について」	NHK解説委員長	山室 英男
「科学技術と人間」	前東京大学長	向坊 隆

昭和58年・第10回 富山会場		
「演劇との出会い」	俳優	白石 加代子
「野球と私」	前読売巨人軍監督 報知新聞社客員	長島 茂雄
「アメリカ人の生き方考え方から私が学んだこと」	翻訳・著述業 国際女性学会メンバー	広中 和歌子
「国際社会と日本」	国際商科大学教授 日本テレビ解説委員	國広 正雄
「美術と生活」	プリチストン美術館長	嘉門 安雄
「禅と人生」	東福寺専門道場師家	福島 慶道
昭和58年・第10回 高岡会場		
「日本人の創造性」	京都大学数理解析研究所長	広中 平祐
「野性とロマン」	角川書店社長	角川 春樹
「日本文学に見る女性像－江戸の女・明治の女－」	早稲田大学教授	興津 要
「ニューメディア時代と放送」	NHK副会長	田中 武志
「私のシネマライフ」	岩波ホール総支配人	高野 悦子
「日本経済の展望」	法政大学教授	力石 定一

昭和59年・第11回 富山会場		
「歴史の中の女たち」	小説家	永井 路子
「小説家の眼」	小説家	阿刀田 高
「日本文化の未来」	筑波大学教授	村松 剛
「人生は勝負」	元将棋名人	升田 幸三
「世界平和における日本の役割」	朝日新聞論説顧問	都留 重人
「これからの日本」	評論家	竹村 健一
昭和59年・第11回 高岡会場		
「演劇的知と現代－劇場国家論にふれて－」	明治大学教授	中村 雄二郎
「世界の中の日本」	慶應義塾大学教授	加藤 寛
「一輪の花」	花芸安達流主宰	安達 瞳子
「暮らしに生きる音楽」	作曲家	都倉 俊一
「禅と現代」	天龍寺僧堂師家	平田 精耕
「母の思い出」	司会・著述家	三國 一朗

昭和60年・第12回 富山会場		
「技術革新」	三菱総合研究所会長	牧野昇
「日本史の七不思議－民衆史的考察－」	東京経済大学教授	色川大吉
「生きざまの哲学」	作家	寺内大吉
「百年間の総理大臣」	政治評論家	俵孝太郎
「どう生きればよいか」	童話作家	花岡大樹
「自己の発見」	作家	曾野綾子
昭和60年・第12回 高岡会場		
「母の手」	作家	太田治子
「世界と日本」	NHK放送局特別主幹	磯村尚徳
「私のサッカー人生」	ヤマデ「イセ」ルッカ部副部長	釜本邦茂
「旅と味」	俳優	渡辺文雄
「日本経済の現状と将来」	東京大学名誉教授	館龍一郎
「歴史の出会い」	作家	陳舜臣

昭和61年・第13回 富山会場		
「日本人の性愛感」	早稲田大学名誉教授	暉峻康隆
「日本の進路」	伊藤忠商事K.K.相談役	瀬島龍三
「日米経済摩擦の文化的背景」	アメリカ史研究者	猿谷要
「二つの日本文化」	哲学者	梅原猛
「創造性について」	上智大学教授	鶴見和子
「未来へのファンタジー」	漫画家	手塚治虫
「地方と文化」	版画家・作家	池田満寿夫
昭和61年・第13回 高岡会場		
「国際社会の中の日本」	国際経済交流財団会長	天谷直弘
「草魂人生」	野球評論家	鈴木啓示
「若い人々へ」	宗教家	盛永宗興
「医学と文学」	作家	加賀乙彦
「生物と小説」	作家 日本野鳥の会理事	加藤幸子
「日本の社会変化の型」	東京大学教授	公文俊平

昭和62年・第14回 富山会場		
「水と緑と土」	立正大学短期大学部教授	富山和子
「これからの日本経済」	名古屋大学教授	飯田経夫
「和と多様性」	学習院大学教授	香山健一
「芭蕉の旅 一茶の旅」	現代俳句協会長	金子兜太
「変動期の世界」	京都大学教授	高坂正堯
「白い道」	映画俳優	三國連太郎
昭和62年・第14回 高岡会場		
「日本の文明」	京都大学名誉教授	上山春平
「明治維新と現代」	筑波大学教授	村松剛
「歴史と人生－男の美学・女の美学－」	宝仙学園短期大学副学長	紀野一義
「生きる」	作家	藤原てい
「私の野球人生」	野球評論家	広岡達朗
「国際化時代の日本」	京都大学教授	矢野暢

昭和63年・第15回 富山会場		
「新しい日本」	評論家	竹村健一
「新しい倫理」	東京大学名誉教授	今道友信
「心をこめて家族の時間」	共立女子大学教授	木村治美
「ガンにかつために」	国立がんセンター所長	市川平三郎
「教育の国際化」	評論家	屋山太郎
昭和63年・第15回 高岡会場		
「これからの北陸」	東北大学電気通信研究所長	西澤潤一
「女優として教師として母として」	俳優	村松英子
「昭和史の終焉－63年を生きて－」	東京経済大学教授	色川大吉
「親の姿 子の心」	薬師寺管長	高田好胤
「わたしの生き方」	本因坊	武宮正樹